外出・余暇活動

ボウリング／図書館

なかなかボウリングを投げるのはむつかしいかなという心配はいらず、すぐに上手になりました。スコアは…？

今回の外出先は、読書の（晩）秋？ということで、本に親しんで心を鍛えようと図書館へ行きました。

クリスマス会

恒例の一大イベント

今回も盛り上がりましたぁー

みんなで楽しんだ『ひびきあいまつり』

家族会や貝塚市・貝塚社協のみなさんはじめ多く方のご協力ありがとうございました。

皆さん以前よりとてもこの日を楽しみにしておられました。当日は晴天に恵まれ、１１月とは思えないほど暖かい日でした。全員でオープニングに参加してまつりの開始です。

やはり模擬店が人気で「たこ焼き食べる！」「焼きそば買いたい！」とそれぞれ好きなものを選んで購入しました。まつりの雰囲気の中食べるのは、またいつも以上においしそうに食べておられました。

そうしている間によさこい、歌と舞台出演がやってきました。練習のかいあってか緊張する様子もなく皆で舞台にあがり、舞人さんと一緒に踊ったあとに「ふなで」「ふるさと」を歌いました。その後も他の舞台を観たり、模擬店をまわり楽しい時間を過ごしました。

せんごくの里ニュース
ふなで

2015年1月　第11号

〒597-0051　貝塚市王子1183-3
TEL.072-437-1075
FAX.072-437-1076
発行者：永田　美子

2015年 〝未〟来に向かって一歩一歩進みたい。

今年も感田神社へ初詣で。飛躍を誓いました。

今年は開設5周年、記念の年

未来とつなぐ「せんごくの里」へ一丸と

新年あけましておめでとうございます。年始におきまして、せんごくの里の事業に対しての日頃からのご協力、ご支援に厚く感謝申し上げます。

昨年、私たちの身の回りでは、情勢の変動や自然の猛威など意図しない出来事がたくさん起こりました。その変動の中でも、「福祉の前進」と「利用者たちの生活が充実するように」との思いを揺るがすことなく日々の営みを続け、また新たな一年が幕を開けました。

今年、せんごくの里は五周年の節目の年にあたります。

ご家族や多くの地域の方々に支えられてきた年月を振り返り、皆の確信にしつつ、今後の五年、十年につながるような年にしていかなければならないと思います。

これからも変わらず利用者や地域の要望を大切にし、職員一丸となって事業運営に取り組んでいく所存です。

本年もよろしくお願い申し上げます。

せんごくの里　所長　永田 美子
職員一同

自治会

栄養、体重の管理など健康で元気な生活を送るために学習も自治会が主催して開催。

役員を中心に活発に自治会活動が進んでいます。みんなが楽しみにしている２巡目の小グループ毎のおやつ作りが始まりました。

１０月の全体会からは新たな取組みもスタートしています。栄養士、調理職員によるお話です。元気に健康で過ごすために栄養のこと、ダイエットなどの話があり、みんな真剣に聞き入っていました。

また一人一人が気持ちよくせんごくの里で過ごせるよう、言葉づかいを振り返って考える時間を作りました。「こんな言い方はどうかな？」「相手の人は嫌な気持ちにならないかな？」大切なことです。これからも「一人一人が主人公」であることを大切に、自治会活動に取り組んでいきます。　（曽我部 真由子）

自治会が発足後、大切な主催行事として続けられている誕生会。みんなが楽しめるよう企画にも工夫が。

群羊を駆りて猛虎を攻む　一頭の力は小さくとも 力を合わせて強い力を発揮する羊のように

団結・協力だ!!

わくわく班

軽作業は毎年恒例になりつつある年末の追い込みがやってきました。次から次へとくる様々な仕事を１つ１つ仕上げていきました。いつもとは違う予定も入ってきて仕事の量にくじけそうになりながらも皆で力をあわせて乗り越えていきました。

そして12月最終週に「すっく」のカフェで打ち上げをすることができました。それぞれ今年の振り返りと来年の抱負を発表しました。これで終わったーと盛り上がった矢先に最後の仕事が飛び込んできましたが、少しも動じることなく（!?）最後までやることができました。１年で大きく成長できたところだと思います。ただ心残りは年末に大掃除ができなかったことです・・・。今年も頑張っていきたいと思います。

（永松 享子）

↑ ワークセンター「すっく」にあるカフェ「taiyou」で打ち上げ

いきいき班のメンバーも書初めに挑戦しました。

いきいき班

いきいき班では年間を通じて、作業に意欲を持って取り組めるよう作業内容を常に見直し、一人一人にあった内容となるよう創意工夫を凝らしてきました。座ったままの作業ばかりでなく、歩行訓練やストレッチ体操など身体を動かすことにも重点をおき、リフレッシュの効果や身体機能の維持・向上を期待して一緒にできる事を頑張ってもらっています。

また、働くことによって受け取る給料はとてもうれしいことです。さらにその使い方を自分で決めることで、働く意欲にもつながるので、相談して給料後の「お楽しみ」と、コンビニへ買い物も行きました。

年末の忙しい時期には軽作業班の手伝いをみんなで力を合わせてでき、新しい取り組みを通じてモチベーションもあがりました。これからも作業や訓練を通じて「できる喜び」を実感できるよう取り組み内容の充実をめざしていきたいと思います。　（井上 英諭）

白いくも

えべっさんに行って商売繁盛を祈願してきました

新メニューに『ゆず茶』と『ココア』登場

１月９日、白いくものメンバーで〝脇浜戎大社〟へ商売繁盛のお参りに行ってきました。昨年もお参りに行き、そのご利益もあって毎月の目標売り上げを達成することができました。今年は、そのお礼と更なる売り上げのアップを全員で願ってきました。

お参りの後には、出店でそれぞれが好きなものを買い楽しいひと時を過ごしました。

１月より、『ゆず茶』と『ココア』が新メニューに加わりました。今年も、カフェ＆ベーカリー白いくもをよろしくお願いします。

音楽療法 vol.6　生きる力をもらったセッション

新年あけましておめでとうございます。本年もミュージック・ケア（M・C）でご一緒できることを楽しみにしています。どうぞ宜しくお願い申しあげます。

さて、今回のお話は6回目です。車椅子を利用されているAさんですが、音楽療法では床におりて参加されています。目を大きく見開いて全身の力を使って圧巻の勢いで一生懸命に前進して来られます。ある時、楽曲「ペルシャの市場にて」を使いました。Aさんは、円になって座っている皆さんの真ん中に来て座りました。フレーズに合わせて両腕を何度も上下に動かす部分で、Aさんは両膝で立ち、上半身を伸ばしたり縮めたり・・。「皆と一緒だよ」「ここに生きてるよ」と全身で命のメッセージを表現しているようでした。素晴らしい一体感に鳥肌が立ちました。感動で涙ぐんでいる職員さんも・・・。

この曲の最後は大きな拍手が沸き起こり、感動の一頁になりました。Aさんから生きる力を貰ったセッションでした。「この人はこんな人」と思ってしまうと可能性の芽が摘まれてしまうのではないでしょうか。次回はどんなお話をしましょう。お楽しみに・・。

北大阪ミュージックケア研究会代表 **浦川 暁美**

家族の思い

通い始めた頃の心配が何だったろうかと思えるほど楽しんで通う姿に安心

平沼　栄さん

せんごくの里にお世話になり、４回目のお正月を迎えました。

息子の佑太はお散歩が大好きで、毎朝「散歩に連れてって〜」と支援員さんにアピールしているそうです。しっかり歩かせてもらっているので身体も丈夫になり、病気もせず元気に通所させてもらっています。お昼ごはんも楽しみな様で、「今日のごはんは何かな〜」と厨房を覗きに行ったりもするそうです。

お昼からは、「プラスチックプレートの箱詰め」などの軽作業も手伝ったりしているそうです。

スタートした頃は、慣れない事だらけで、いつになったら皆さんと同じに落ち着いた生活が送れるのか心配でしたが、今ではそんな心配も何だったのだろうと思えるくらい楽しんでせんごくの里に通ってくれています。

まだまだ、心配な部分もありますが、楽しい日々を送れることを願っています。これからもよろしくお願いします。

ご寄贈のお礼

貝塚市社会福祉協議会様 ····· 小餅
カトリック教会岸和田様 ····· 寄付金

ありがとうございました。